

令和6年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ぼくらの市民活動プロジェクト
事業主体 (連絡先)	ぼくらの市民活動プロジェクト実行委員会 大町市大町 3887 市民活動サポートセンター内
事業区分	(1)地域協働の推進 (8)その他地域の元気を生み出す地域づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	699,057円 (うち支援金: 499,000円)

事業内容

1 「つながるマルシェ」の開催

令和6年9月7日(土)に大町市文化公園にて開催。
出店団体は26団体、発表団体は5団体。来場者は約600名、キッチンカー業者等による飲食販売は12店舗。

2 「新たな仲間の巻き込み方」講座の開催

令和7年3月22日(土)大町市総合福祉センターにて開催。参加者は18名。講師はNPO法人CRファクトリー三宅玲子さん。参加費は500円。

内容は自己紹介後、①非営利組織の運営の難しさ②コミュニティマネジメントの基本原則③新たな仲間の巻き込み方の講義とグループワーク2回を実施。



【つながるマルシェの様子】

【目標・ねらい】

- ①市民団体の活動内容の周知啓発
- ②団体間の連携と活性化
- ③新たな仲間づくりの推進
- ④活動継続のための手法習得

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

1 「つながるマルシェ」

約600名のお客様が来場され、市民団体の活動内容を広く紹介できた。市内だけでなく大北地域から出店・発表により、広域的な活動の取り組みの周知や団体間の交流の場が創出できた。

2 「新たな仲間の巻き込み方」講座

和やかな雰囲気の中、各団体の意見交換や交流ができた。団体を継続するため、仲間を増やすために動き出すキッカケをつかめた内容となった。

※自己評価 【 B 】

【理由】

マルシェは猛暑の影響で来場者数が少なかったが、多種多様な26団体が集まり良い雰囲気の中行えた。講座はシニア世代を中心に参加があり、仲間集めの基本的な考えを学べた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

令和5年、6年と「つながるマルシェ」を開催したことにより、市民活動団体の周知がある程度できたと感じる。今後は情報発信・受信力を高め、各イベントと団体をつなぐ橋渡しの役目を担うことを検討している。

講座について、市民活動団体が新たに課題としているSNSなどの情報発信の仕方や、補助金申請のポイントなどの講座、あるいは、今回のコミュニティマネジメント講座のシリーズ化(全5回で開催している例が多い)を検討し、持続的に市民活動に取り組めるよう支援する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある